

令和元年度 第2回 昭和大学病院 医療安全監査委員会 議事録

日 時 令和2年2月4日(火) 午後2時00分～3時00分

場 所 昭和大学病院中央棟7階会議室

出席者 監査委員

貝阿彌誠委員長(弁護士)、越石孝一委員(患者代表)、
高橋寛委員(昭和大学藤が丘病院病院長)

病 院 側

板橋家頭夫病院長、小林洋一医療安全管理責任者(副院長)、
大嶽浩司クリティカルケア室長(副院長)、荒川千春看護部長、
徳田幸子医療安全管理者、古田康之医療安全管理者、二瓶友美医療安全管理者、
大石竜医療機器安全管理責任者(岩城)、野田秀裕医薬品安全管理責任者、
田口彰彦事務部長、佐々木真管理課長、大川宏クリティカルケア課係長、
林晃汰医療安全管理部門専任事務員、代田遥菜医療安全管理部門専任事務員

欠 席 者 武井医療安全管理副部門長、佐々木忠徳薬剤部長

議 事

1. 病院長挨拶

板橋病院長より、挨拶があった。

2. 委員長挨拶、出席者紹介

監査委員と病院側の出席者の紹介があった。

3. 前回議事録の確認

前回議事録の確認を行い、承認された。

4. 監査項目

1) RRS(Rapid Response System) & コードブルー経過報告

2019年10月から2019年12月までの経過報告があり、以下の説明や議論があった。

- ・RRS 起動件数に対して、クリティカル病棟への入室件数が増加しているのは、医療安全管理部門から集中治療科にRRS 起動患者はなるべくICUに入室できるよう依頼したことが理由として挙げられる。
- ・2019年11月のRRS 依頼件数に対してコードブルー依頼件数が多い理由としては、RRSの起動基準に該当しない肺血栓塞栓症等が原因でコードブルー要請となっていることが挙げられる。
- ・コードブルーの発生を減らすために、qSOFA(敗血症基準)をRRSの起動基準とすることでRRSの質が向上していくと考えている。
- ・委員より今後RRSの起動基準について、点数化していくのかとの質問があった。
→基準(看護師の気づきを含む)に1つでも該当すれば、起動するシステムであるため、点数化は考えていない。
- ・RRS 起動患者の予後はどうかとの質問があった。
→概ね予後は良好である。
- ・前回当委員会にて、消化器内科と整形外科のRRS 起動件数が多いとの説明があったことから、コードブルーも同様診療科の件数が多いのかとの質問があった。
→関連性はない。

2) 第3回M&Mカンファレンス(Mortality & Morbidity)概要(2019年度第2回)

Mortality & Morbidityカンファレンスについて、2020年2月27日に開催予定であるとの報告があった。

今回は一般外来受診患者の入院決定時にクリティカル病棟入室基準がないことを問題点として議論を展開していくとのことであった。

3) 放射線診断レポート未読対策について

当院における放射線診断レポートの未読対策について、説明があった。

また検査目的と異なる部位に異常所見が認められた場合は、トランスクリバラーよりオーダー医師と医療安全管理部門に報告が入り、医療安全管理部門はオーダー医師が患者に説明し、その旨が診療録に記録されているかまで確認している。

委員より上記の対策が構築されているということは、当院では未読のまま治療がされないケースはないのかとの質問があった。

→2017年9月より当運用を開始しているため、それ以降のものは問題ない。

また診断名を報告書の最上位に表示させ強調したほうが良いとの意見があった。

4) インシデント報告～転倒・転落状況について～

2018年1月(電子カルテ導入年)～2019年11月の当院の転倒・転落データについて報告があった。

委員よりトイレ用の転倒・転落防止の柵はあるのかとの質問があった。

→車椅子用の安全ベルトや離床センサーは持ち合わせているが、トイレ用の転落防止柵はないため、今後検討する。

藤が丘病院では、内視鏡検査時の靴を履く際の転倒防止を目的として、内視鏡検査室では土足入室としているとのことであった。

5. 講評

3名の委員より以下のとおり講評があった。

【貝阿彌委員長】医師の働き方改革をふまえたRRSとコードブルーの関係性が良く分かった。医療安全業務全般について引き続き合理化に努めるように。

【高橋委員】RRSの取り組みは非常に良い。昭和大学病院の附属ごとで特性は異なるが、今後は共通して実施していきたい。

【越石委員】RRS起動件数について、10時の起動が多いのはなぜか。

→病棟にて夜勤帯から日勤帯への申し送りが約9時頃に実施しており、申し送り後にベッドサイドにて患者のバイタルサインを確認することから10時の起動が多いのではないかと考える。

以 上